



▲ドイツ・マイセン窯 《色絵花文輪花皿(柿右衛門様式)》
18～19世紀 H3 φ22.2cm 高台:h0.5 φ12.3cm

十八
親和

Juhachi
Shinwa
Art Gallery

アート
ギャラリー

学芸員
便り

当館で所蔵する作品を紹介します

今回ご紹介する《色絵花文輪花皿(柿右衛門様式)》はドイツのマイセン窯で焼かれたものです。

17世紀後半のヨーロッパでは、王侯貴族を中心に中国や日本の磁器が大流行し、白地に色鮮やかな絵付けを施した多種多様な磁器を輸入していました。その後、一大コレクションであったザクセン選帝侯フリードリヒ・アウグスト1世が磁器製作の研究を命じたことを契機に、18世紀前半に現在のドイツ・ドレスデンでマイセン窯が誕生し、薄くて硬い磁器がヨーロッパでも作られるようになっていきます。

本作は、白磁の平皿に花や蝶が色鮮やかに描かれ、茶色

で縁取られた口縁が全体を引き締めています。白磁の白さを活かした余白や非対称に描かれた文様など日本的な構図の美しさが見られる一方で、花や蝶の表現にはヨーロッパ絵画のような華やかさも感じられます。

現代の日本でも親しまれる高級食器メーカー「マイセン」誕生の背景には、肥前地域の窯業文化の歴史があり、独自のデザインや技術を発展させていく過程には、職人たちのものづくりの精神が息づいています。本作は肥前地域の陶磁器を産地別にご紹介する陶磁器展示室2にて公開しています。

(十八親和アートギャラリー学芸員
藤松綾子)

十八親和
アートギャラリー

開館時間：10:00～16:00(入館は15:30まで)

休館日：日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分

JR佐世保駅から徒歩約20分

